東京都立大江戸高等学校　令和５年度　公民科　年間授業計画

１　科目名　現代社会　　２　講座名（単位数）　現代社会（２単位）
３　教科担当者　石井美菜子・稲見圭介・熊川雪路・豊田基裕
４　使用教科書・教材　『高等学校 改訂版 新現代社会』（第一学習社）『新編テーマ別資料 現代社会 2023』（とうほう）
５　授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点	予定時数
1学期	4 5 6 7	○ 青年期と自己形成 (1)青年期の意味 (2)自己形成の課題 ○ 現代の民主政治 (1)日本国憲法の基本原理 (2)国会の運営と権限 (3)内閣と行政の民主化 (4)裁判所と人権保障 (5)地方自治と住民の福祉 (6)選挙制度の現状と課題 (7)世論の形成と政治参加	○青年期の意味を理解させ、自らの問題としてアイデンティティ確立について思索を深めさせる。 ○日本国憲法の基本原理を、明治憲法と比較によって理解させる。 ○国会・内閣・裁判所のそれぞれの役割を理解し、具体的な事例と関連づけてその運営や機能について考えさせる。 ○地方自治の本旨を、具体的な事例と関連付けて理解させる。 ○日本の選挙制度を理解し、その課題について具体的に考えさせる。	＜評価の観点＞ 【知識・技能】 ○現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 【思考・判断・表現】 ○事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ＜評価方法＞ 上記の観点に基づき、 １　定期考査 ２　提出物 ３　学習への取り組み から総合的に評価する。	4 8 8 6
2学期	9 10 11 12	○ 現代の経済社会 (1)財政の仕組みと税金 (2)日本の財政の課題 (3)社会保障と福祉社会 (4)これからの社会保障 (5)雇用と労働の問題 (6)労働環境の整備 (7)公害の防止と環境保全 (8)消費者問題と消費者主権	○財政や租税について理解し、具体的な事例に基づいて日本の財政の課題について考えさせる。 ○社会保障の役割を理解し、具体的な事例に基づいて日本の社会保障制度の課題について考えさせる。 ○雇用・労働・環境・消費者問題を具体的な事例に基づいて理解し、自らの身近な問題としてその課題について考えさせる。		8 6 8 6
3学期	1 2 3	○ 現代の経済社会 (9)経済と私たちの生活 (10)市場のしくみ ○ 国際政治の動向と日本の役割 (1)国家主権と国際法 (2)国際連合の役割と課題	○各経済主体の役割を理解させ、経済活動を多面的・多角的に考察させる。 ○市場経済の基本的な考えを理解させる。 ○国際社会における主権と国際法の意義と役割を、具体的な事例に基づいて理解させる。 ○国連の役割を理解し、具体的な事例に基づいてその課題について考えさせる。		6 6 4
				予定時数計	70